

解析学 I・同演習に関する注意

河野

[前期に数学序論に関して配ったものとほとんど同じ]

- (1) 「解析学 I+ 同演習」を一体のものとして取り扱う。演習の時間に講義をする事もあるし、解析学 I の時間に演習することもある。成績も一体のものとして取り扱う。
- (2) 私語禁止。私に対する数学的質問は勿論私語ではないので、随時 (私の話している途中でも) してかまわない。
- (3) 食事禁止。飲み物は可とする。
- (4) 教室への出入りは自由ではない。途中入室・途中退室は自由だが、再度入室する意思をもって退室する場合は私の許可をとってから退室する事。
- (5) 携帯電話の電源を切らなくともよいが、講義中はサイレントモードにし、時計機能以外は使用しないこと。
- (6) 再履修の人への注意：履修届提出後の適当な時期に、Renandi にアクセスして解析学 I(河野担当)・同演習 (河野担当) が表示されるか確認する事。履修届未提出の場合単位提出は不可である。

なお、解析学 I と同演習の履修届は同じクラスに提出する事。出席と届のクラスが異なってもかまわない。

- (7) 大学の数学についての注意。
 - 1) 大学は講義だけ聞いて理解できるという想定をしていない。講義が演習・実験に比較して、同じ時間で単位数が多いのは、講義と同じ時間の予習・復習 (合わせて講義時間の 3 倍) をすることを前提としている。
 - 2) 講義をしっかりと聞き、分からない所はその場で質問をするように (もちろん後での質問がダメというわけではない)。
 - 3) 内容的にも変化がある。高校では、問題を解くのが中心で、所謂「模範解答」というものが有った。しかし大学では中身 (定義・定理) を正確に (論理的に) 理解することが中心になる。問題はその補助手段と考えた方が良い。

- 4) 受験勉強の悪影響である「丸暗記」は理解を妨げることが多い。「理解する」ことを基本に学習を進めることを強く推奨する。
- 5) 大学の先生は高校の先生程「親切」ではない。学生を「大人」として扱う。自分から action を起こさない限りめんどうは見てくれない。教師を上手に「使う」か否かで学習効率にも違いがある。

講義で配るプリントは <http://math.cs.kitami-it.ac.jp/~kouno/kougi.html> (Renandi から辿れる) で閲覧できる。

試験等の連絡・試験の点数・最終成績は Renandi に載せる。

試験について

試験は 3 回行う。2 クラス同時に行うので、講義時間以外の時間に行う。

第 1 回試験	11 月 16 日 (木)	18:30 ~ 20:00	1 章
第 2 回試験	12 月 14 日 (木)	18:30 ~ 20:00	2 章
第 3 回試験	2 月 8 日 (木)	18:30 ~ 20:00	3 章

不合格だったものを対象に再試験を 1 回だけ今年度中に実施する。それで不合格なら再履修となる。